オプションサービスの概要

ボーダフォンでは、次のオプションサービスを利用することができます。

転送電話サービス	電源を切っているときや電波の届かない場所にいるとき、電話に出られないときに、かかってきた電話を指定した電話番号へ転送します（☞15-3ページ）。
留守番電話サービス	電波の届かない場所や通話中のため電話に出られないとき（割込通話サービスを設定しているときは除く）などに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします（☞15-4ページ）。
割込通話サービス	今までお話ししていた相手の方との通話を保留にし、かかってきた電話を受けることができます（☞15-7ページ）。
三者通話サービス	2人での通話中に、もう1人に電話をかけ、3人同時に通話することができます。また、相手の方を切り替えながらの通話もできます（☞15-8ページ）。
発信者番号通知サービス	お客さまの電話番号を相手の方に通知したり、かけてきた相手の方の電話番号を確認することができます。

- **電波の届かない場所や、ご契約いただいた地域以外のサービスエリアでは、V601Tからは操作できません。**
- **ご契約いただいた地域によっては、ご利用になれないサービスや機能が制限されるものもあります。**
- **ご利用にあたって、月額使用料がかかるサービスもあります。お申し込み時にご確認ください。**
- **オプションサービスの詳細については「サービスガイドブック」をご覧ください。**

オプションサービスのご利用にあたっては、あらかじめ次の点をご確認ください。

オプションサービス	ご契約された地域		
	関東・甲信／東海／関西	北海道／北陸／九州・沖縄	東北・新潟／中国／四国
転送電話サービス	−	−	−
留守番電話サービス	お申し込みが必要	お申し込みが必要	お申し込みが必要
割込通話サービス	お申し込みが必要	お申し込みが必要	お申し込みが必要
三者通話サービス	お申し込みが必要	お申し込みが必要	お申し込みが必要
発信者番号通知サービス	お申し込みが必要	お申し込みが必要	お申し込みが必要

−：お申し込み不要で、そのままご利用になれます。

転送電話サービス

■転送先の電話番号を登録する

1 ○• 7 1 の順に押す

2 ◎で「転送先番号」選択し、●を押す

▶転送先電話番号の入力画面が表示されます。

3 転送先の電話番号を入力し、●を押す

- 登録先が一般電話のときは、市内であっても市外局番から、また携帯電話のときは相手の電話番号（全桁）を入力してください。
- 接続中のメッセージが表示されたあと、登録された転送先電話番号が表示されます。表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。

補足

以下の電話番号は転送先として登録できません。
「1」から始まる電話番号（例：110、119、118など）
「0120」から始まる電話番号（フリーダイヤル）
「0990」から始まる電話番号（ダイヤルQ2など）

■転送電話サービスを開始する

あらかじめ転送先の電話番号を登録しておいてください。

1 次の操作で転送条件設定画面を呼び出す

① ○• 7 1 の順に押す
② ◎で「**転送条件**」を選択し、●を押す

2 ◎で「呼出あり」（着信音を鳴らす）または「呼出なし」（着信音を鳴らさない）を選択し、●を押す

- 「**呼出なし**」は、関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合のみご利用になれます。
- 接続中のメッセージが表示されたあと、「**テンソウサービスON**」と表示されます。表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。

重要

- 転送電話サービスと留守番電話サービスを同時に利用することはできません。
- すでに留守番電話サービスを開始されているときに転送電話サービスを開始すると、留守番電話サービスは停止されます。

■転送電話サービスを停止する

1. ◯● 7 3 の順に押す
2. ◎で「YES」を選択し、●を押す
   - 接続中のメッセージが表示されたあと、「**ヒショサービスOFF**」と表示されます。表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。

転送電話サービス開始後の着信中

■着信音が鳴っている間に☎を押すとそのまま通話できます。

- 転送時の着信音を「**呼出なし**」にしているときは、そのまま転送先に転送されます（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合）。

転送電話サービスの設定状況の確認

1. ◯● 7 4 の順に押す
2. ◎で「YES」を選択し、●を押す
   ▶転送電話サービスまたは留守番電話サービスの設定状況が表示されます。

補足

秘書サービスとは…
転送電話サービスと留守番電話サービスのことを秘書サービスと呼びます。

留守番電話サービス

- **別途お申込みが必要です。**

■留守番電話サービスを開始する

1. ◯● 7 2 の順に押す
2. ◎で「呼出あり」（着信音を鳴らす）または「呼出なし」（着信音を鳴らさない）を選択し、●を押す
   - 「**呼出なし**」は、関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合のみご利用になれます。
   - 接続中のメッセージが表示されたあと、「**ルスバンサービスON**」と表示されます。表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。

重要

- 留守番電話サービスと転送電話サービスを同時に利用することはできません。
- すでに転送電話サービスを開始されているときに留守番電話サービスを開始すると、転送電話サービスは停止されます。

留守番電話サービス開始後の着信中

■着信音が鳴っている間に☎を押すとそのまま通話できます。

- 転送時の着信音を「**呼出なし**」にしているときは、そのまま留守番電話センターに転送されます（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合）。

留守番電話サービスの機能

■留守番電話サービスには、応答メッセージの録音や不在応答メッセージの利用など、いろいろな機能があります。利用できる機能や操作方法は、ご契約いただいた地域によって異なります（詳しくは、「サービスガイドブック」をご覧ください）。

留守番電話サービス停止時

■着信中に、◯● Power の順に押すと、その着信に限り留守番電話センターに転送されます（留守番電話サービスは停止のままです）。

■留守番電話サービスを停止する

1. ◯● 7 3 の順に押す
2. ◎で「YES」を選択し、●を押す
   - 接続中のメッセージが表示されたあと、「**ヒショサービスOFF**」と表示されます。表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。

■伝言メッセージを聞く

留守番電話センターにメッセージを預かっているときは、以下の操作を行うと、ディスプレイに「📼」が表示されます。

・電源をONにしたとき
・発信、着信をしたとき
・通話を終了したとき
・一定距離を移動したとき（この場合の一定距離とは、市街地の場合で数km～数十km、郊外では数十kmが目安です）

1. 1 4 1 6 ☎ の順に押す

   以降は、留守番電話センターのアナウンスに従って操作を行ってください。

補足

「📼」はV601Tで新しいメッセージを聞いたときに消えます（一般電話からメッセージを聞いたときは消えません）。

留守番電話サービスの設定状況の確認

1 ○● 7 4 の順に押す
2 ◎で「YES」を選択し、● を押す
▶留守番電話サービスまたは転送電話サービスの設定状況が表示されます。

転送電話／留守番電話の呼び出し時間設定

- **東北・新潟／中国／四国地域では、現在このサービスはご利用になれません。**

転送電話サービスまたは留守番電話サービスを開始しているときに、V601Tにかかってきた電話が転送されるまでの時間（V601Tの着信音が鳴る時間）を5〜30秒（5秒単位）の間で設定できます。

- **電波の届かない場所やご契約いただいた地域以外のサービスエリアでは設定できません。また、一般電話からも設定できません。**
- **着信音を鳴らさない設定にしているときは、ここでの設定は無効になります（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合）。**
- **お買い上げ時は「20秒」に設定されています。**

1 ○● 7 0 の順に押す

▶設定できる呼び出し時間が表示されます。

2 ◎で呼び出し時間を選択し、● を押す

- 接続中のメッセージが表示されたあと、「**トウロク**」と表示されます。表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。

補足

転送電話サービスまたは留守番電話サービスをV601Tの簡易留守録機能（☞14-11ページ）とあわせてご利用になる場合は、呼び出し時間の短い方が優先されます。
例：サービスの呼び出し時間 ……10秒
簡易留守録の呼び出し時間 …6秒
と設定すると、簡易留守録が優先されます（ただし、電波状況により優先順位が変わることがあります）。
また、簡易留守録を優先していても、録音件数が一杯になると留守番電話サービスが優先されます。